



コープながのガイド

2023



co-op
コープデリ

コープながの

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

コープながの理念

CO・OP ともに はぐくむ 暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、一つひとつの暮らしの願いを実現します。

私たちは、ものと心の豊かさが調和し、安心してらせるまちづくりに貢献します。

私たちは、人と自然が共生する社会と平和な未来を追求します。

コープながのビジョン 2025

食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。

SDGs

(持続可能な開発目標)

について



持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。コープながのの取り組みは、SDGsの実現につながっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「コープなのは生活協同組合です」

生活協同組合(=生協)って何でしょう？

生協は消費者一人ひとりが、くらしのさまざまな願いを実現するために、事業や活動を通して助け合う消費者の自発的な組織です。日本では「消費生活協同組合法」に基づいて設立され運営されています。

生協がすすめてきたこと

生協はこれまでの長い歴史の中、消費者の「安全で安心できる商品を利用したい」という願いをかなえるために、不必要な添加物を減らした商品、地球環境にかかる負荷を減らす商品、アレルギー表示の開始…など世の中に先駆けて、消費者視点でのコープ商品や産直商品を提供してきました。

また、商品検査センターでの商品検査や、商品が消費者の手元に届くまでの品質保持や温度管理の徹底など、フードチェーンでの安全にも取り組んでいます。

生協は3つの柱で成り立っています

出資

生協を運営する
事業資金などとして
活用されています

利用

組合員みんなで
商品やサービスを
利用します

運営

運営の主役は
「組合員」です

出資…組合員になる時に生協に預けていただく出資金は、商品調達や事業の運営に活用されています。

利用…組合員は商品を購入したり、さまざまなサービスを利用します。

運営…生協の組合員になる、商品やサービスを利用する、さまざまな取り組みへの参加をする、総代として参加をする、などすべてが生協の運営にかかわっています。

組合員の権利

協同組合の組合員は、出資の多少にかかわらず同じ権利があります。

※組合員全員が集まって話し合いをすることはできないので、組合員の代表となる総代を決めます。総代は総代会で方針案について決議を行います。

「コープながの」の組織

コープながの概要

[2023年3月20日現在]

名称	生活協同組合コープながの
本部所在地	〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668番地
設立	1992年9月21日
代表理事	太田 栄一
組合員数	33万3,400人
出資金	132億7,322万円
事業高	461億76万円
事業領域	コープデリ宅配センター：13 コープデリ店舗：2 移動店舗：移動販売車 2 学校職域事業、共済事業、福祉事業（2センター、3宅老所）、共済・サービス事業・保険



コープながのは、コープデリ連合会に加盟する6つの生協（コープながの・コープみらい・いばらきコープ・とちぎコープ・コープぐんま・コープデリにいがた）とコープデリ連合会およびその子会社で構成されるコープデリグループの一員です。コープデリグループは、消費者・組合員の暮らしへの貢献を目指して、同じ理念とビジョンを掲げるグループです。

コープデリグループ

[2023年3月20日現在]

コープながのが加入するコープデリ連合会概要

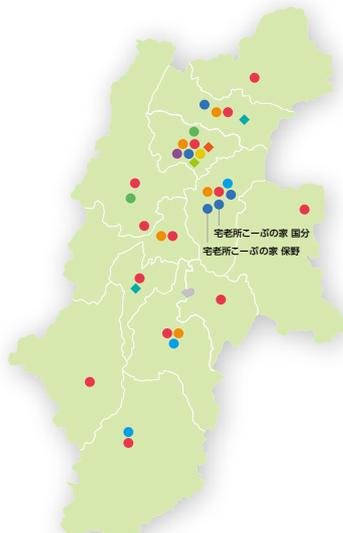
名称	コープデリ生活協同組合連合会
本部所在地	埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
代表理事	熊崎 伸
組合員数	528万人
事業高	4,519億2,598万円



対象期間：

特に断りのない限り2022年度（2022年3月21日～2023年3月20日）のものですが、一部2023年度の活動も含んでいます。

事業所一覧



● コープデリ宅配センター	13	◆ (株) コープデリ	
● コープデリタ食宅配	5	■ 保険センター 長野支店	1
● 店舗	2	◆ (株) コープデリサービス	
● 福祉センター 2 宅老所	3	■ 住宅事業部	
● 共済センター	1	■ 長野・群馬・新潟営業所	1
● 学校職域センター	1	◆ コープデリ集品センター	2
● ステーション	2		

コープながの本部

(長野市篠ノ井御幣川668)

総合企画室

■ 暮らしの困りごと総合窓口
(くらしサポート活動 まごころ)

福祉センター長野(長野南)

■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護

共済センター

学校職域センター

(株) コープデリ保険センター

長野支店

(株) コープデリサービス住宅事業部

長野・群馬・新潟営業所

コープデリ中野センター

(中野市江部川原田1385-3)

コープデリ長野センター

(長野市大字村山482-3)

須坂グロサリー集品センター

(須坂市井上砂田1700-11)

福祉センター長野

長野北事業所

(長野市堀田2-6-22)

■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護

■ 宅老所こーびの家 まゆみだ

コープ長野福里店

子育て応援センター

きらきらきつずいなさと

(長野市福里町中央3-38-1)

コープデリ篠ノ井センター

(長野市篠ノ井御幣川656)

コープデリ上田センター

(上田市上塩尻字嶋崎313-1)

上田古里ステーション

福祉センター上田

(上田市古里742-4)

■ 居宅介護支援 ■ 訪問介護

■ 宅老所こーびの家 保野

■ 宅老所こーびの家 国分

コープデリ佐久センター

(北佐久郡御代田町御代田聖原1062-2)

コープデリ池田センター

(北安曇郡池田町会染9011-16)

コープデリ安曇野センター

(安曇野市豊科高家1159-4)

コープ安曇野豊科店

(安曇野市豊科2637-4)

コープデリ松本センター

(松本市笹賀7802)

コープデリ塩尻センター

(塩尻市宗賀本山4145-1)

塩尻要冷蔵品センター

(塩尻市宗賀本山4145-1)

コープデリ木曾センター

(木曾郡上松町大字秋原1019-2)

コープデリ諏訪センター

(諏訪市大字湖南字城下3174)

コープデリ伊北センター

(上伊那郡興輪町大字三日町1396-2)

コープデリ飯田センター

(飯田市松尾寺所7312)

錦町ステーション

(飯田市錦町2-25-1)

コープながののあゆみ

1992年	学校生協・南信生協・長野生協・県民生協の4生協が合併し、「生活協同組合コープながの」発足(9月21日)
1994年	長野電鉄生活協同組合と合併(3月)
2005年	生活協同組合連合会コープネット事業連合会に加入
2006年	コープネットグループ共通の理念・ビジョンを作成
2007年	共同購入商品案内「ハピ・デリ」をコープネット事業連合会と統合
2008年	宅配事業の物流施設・機能をコープネット事業連合会と統合 コープ共済連に加入
2011年	コープデリ・コープステーション(大型・地域)の開設・展開を開始
2012年	移動店舗事業を、コープ長野福里店を母店に長野市でスタート コープの葬祭事業(コプセながの)をスタート
2015年	優良な「子育てサポート」企業として厚生労働大臣特別認定「プラチナくるみん認定」を取得
2016年	長野県の「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を取得
2017年	「コープネット事業連合会」から「コープデリ生活協同組合連合会」へ組織名称を変更
2022年	コープながの創立30周年

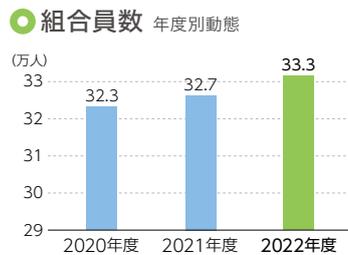
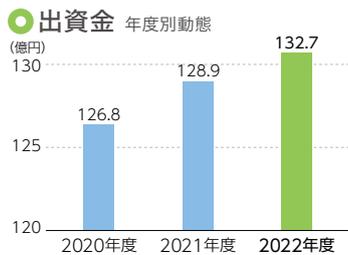
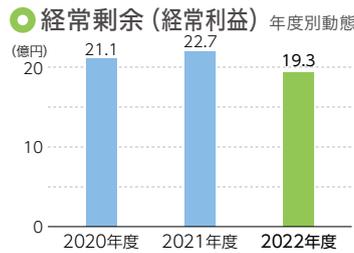
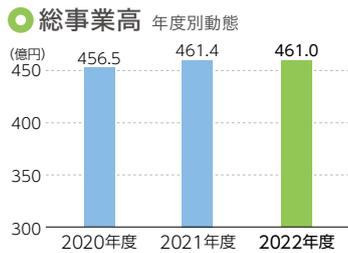
財務データ

2022年度の事業と組織の到達点

コロナ禍による内食需要などの影響で、特に宅配事業を中心に事業は伸張してきました。2022年度も微増の状況ではありましたが、会計基準の変更(収益認識会計の適用)により決算は「減収」となりました(会計基準の変更を考慮すると「微増収」となります。)。収益は、昨今のエネルギー・物資・物価の高騰、競合店の出店など、事業環境の厳しさが増したことで「減益」となりました(予算上の総事業高および経常剰余金は確保しています。)

2022年9月、創立30年を迎え、コープながのの組合員数は10,347人増加し333,400人となり、長野県内の世帯の約39.5%が加入する組織となりました。

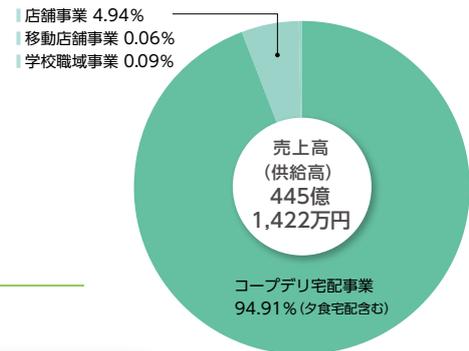
※1世帯につき組合員1人とした換算率



損益の状況 (単位: 千円)

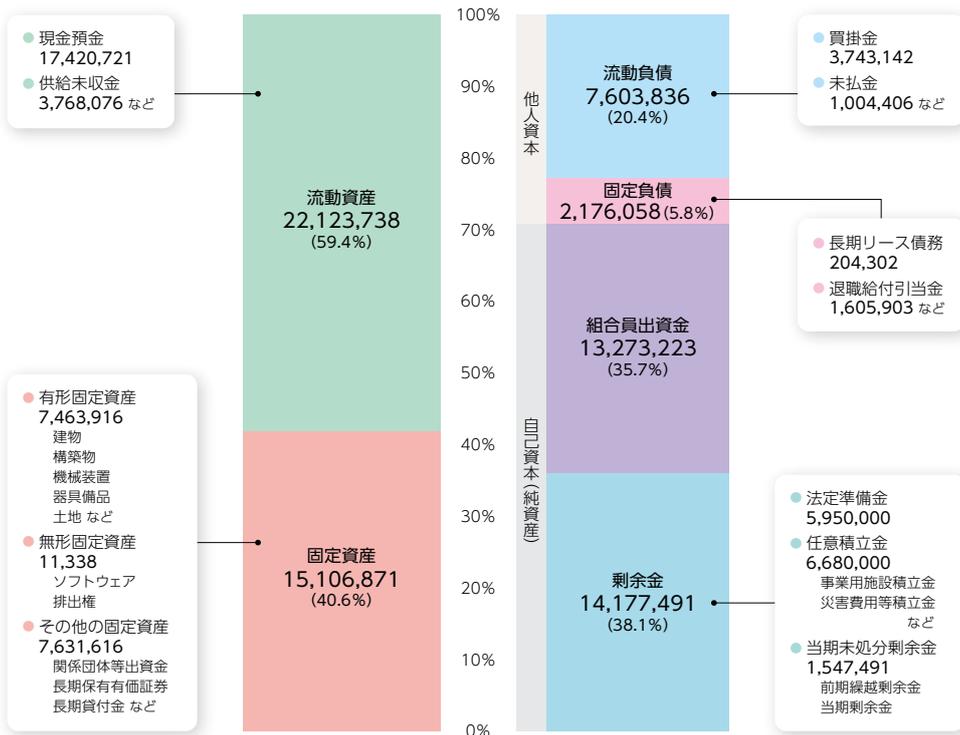
項目	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比
売上高(供給高)	44,091,594	44,540,675	44,514,227	99.9%
売上総利益(供給剰余金)	9,578,092	9,530,880	9,257,157	97.1%
利用事業収入	94,346	94,830	0	0.0%
福祉事業収入	186,075	190,818	197,359	103.4%
その他事業収入	1,285,291	1,314,517	1,389,179	105.7%
事業総剰余金	10,851,239	10,835,377	10,625,625	98.1%
事業経費	8,943,323	9,037,297	8,990,334	99.5%
人件費	3,543,242	3,641,480	3,705,214	101.8%
物件費	5,400,080	5,395,816	5,285,119	97.9%
営業利益(事業剰余金)	1,907,915	1,798,080	1,635,290	90.9%
経常利益(経常剰余金)	2,118,222	2,277,815	1,932,478	84.8%

事業別供給高内訳



貸借対照表の構成比 [2023年3月20日] (単位: 千円)

総資産 35,230,609



・総資産のうち自己資本比率は、73.8%でした。総資産の約35.7%は組合員出資金です。内部留保の充実をはかり、経営基盤を強固なものにしていくよう努めています。

コープが扱う商品

コープながのは、商品供給事業を通して、「安全と安心」「おいしい」「利用しやすい価格」「健康」「楽しい」「便利」「持続可能な社会の実現への貢献」の7つの価値を実現し、組合員のふだんの暮らしを支えるため、安心して継続利用できる多様な商品の提供方法を追求していきます。

コープ商品



赤いロゴマークの「コープ商品」は、ふだんの暮らしに必要なものを揃えています。組合員の声をもとに生まれ、声を反映しながら改良・進化し続けている、日本生協連開発商品です。原材料からしっかり管理され、コープが定めた仕様書に基づき、コープとのパートナーシップが形成された工場に製造を委託して作っています。

提供するすべての商品の安全性確保に取り組み、全国の生協組合員が利用しています。



コープの商品▶

特徴ある「コープ商品」



「コープクオリティ」シリーズ

原料や製造方法など、おいしさの理由が明確なコープ商品です。100人規模の組合員モニターテストを行い、8割以上がおいしい（※ややおいしいも含む）と評価した商品で、他商品との違いが明確になっています。



「きらきらステップ」シリーズ

5か月の離乳期から3歳までの幼児期向け

お子さんの初めての食事に関する悩みを解消し、子育てがより楽しくなるような商品です。素材を生かしながら使いやすい形状で、対象月齢に合わせた品揃えがあります。



「きらきらキッズ」シリーズ

3～6歳向け

子どもがいるいろいろな食べ物に親しみ、おいしさや食べる楽しさを覚えていけるような商品です。モニターの声をいかし、素材や味付けにも配慮しています。



「コープサステナブル」シリーズ

環境や社会に配慮した主原料を使った商品に、共通のロゴマークを付けてシリーズ化しました。こうした商品を“選んで使う”エシカル消費のスタイルが「持続可能＝サステナブル」な社会実現につながります。

- 適切に管理されたパーム油に付けられる認証マークRSPOを使ったコープヌードル
- 管理された認証林などを原材料に作られたFSC認証のコープティッシュや未晒しキッチンペーパー
- 生態系保護や労働環境を守るレインフォレストアライアンス認証のコーヒーや紅茶
- 水産資源を枯渇させないように配慮したMSC認証マークの水産物
- 環境や地域社会へ配慮した養殖を行ったASC認証マークの水産物

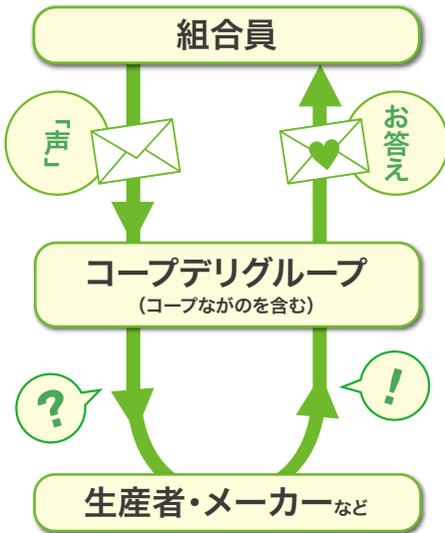


「7品目を使わない」シリーズ

特定原材料7品目を使わず、持ち込まない専用工場または専用ラインで厳しいチェック体制のもとで製造。アレルギーがある人も、ない人も「いっしょに安心して食べる」ことができ、食事づくりをサポートする商品です。

※くまの表示については2024年度中に変更予定

組合員の「声」



コープながのは、組合員から直接声を寄せられる「声のポスト」「お申し出」「お問い合わせ」のほか、職員が配達現場などで聞いた「観たこと聴いたことカード」の内容をすべてデータベース化しています。組合員からの声や意見・要望を把握して分析を行い、商品企画の頻度や商品の改善・開発につなげています。店舗や宅配現場のほか、さまざまな取り組みの中で、広報誌からの声など、多くの媒体から声が寄せられます。

コープ商品は、消費者である組合員の声を形にしてきており、そのスタイルは今も昔も変わっていません。



▲商品コミュニティサイト「コープ・デリシェ」

食の安全の取り組み

商品検査について

コープながのは、商品の安全性の確保や品質保証を事業活動の最優先事項と考え、コープデリ連合会や日本生協連とともに、原料調達から組合員の手元に商品が届くまでの工程における管理システムを構築しています。さいたま市にある「コープデリ商品検査センター」は、商品の微生物検査、残留農薬検査、放射性物質検査、食物アレルギー検査などのほか、組合員さんからお申し出いただいた商品の検査など年間約3万件の検査を行っています。施設内は見学のほか食の安全にかかわる実験や手洗いチェックなどの学習ができます。

コープデリ商品検査センター

コープデリ商品検査センターの役割は、次の3つです。

- フードチェーン全体での食の安全の取り組みが機能していることを科学的・客観的に把握します。
- 食品衛生法や関連する法令、コープデリ自主基準に適合しているか、確認します。
- 検査データを蓄積・分析し、商品の改善・品質向上に役立ちます。

商品の安全性を確保するためには、フードチェーン全体での総合的な取り組みが必要ですが、商品検査はその機能の重要な1つとなります。



施設紹介▶



食の安全の取り組み(フードチェーン)

ひとつの商品が、生産者から始まり、組合員にわたるまでのつながりをフードチェーンといいます。

食の安全は、生産・流通・消費までのフードチェーンに携わる一人ひとりが、食品安全性確保のためのバトンをつなぐ「食の安全バトンリレー」全体の取り組みで実現することができます。そのため、フードチェーンの各段階における正確

な情報伝達と連携に取り組みます。

消費者・組合員もフードチェーンの一員です。フードチェーンをより確固たるものにするため、組合員と生産者との交流など、信頼の輪を広げる取り組みもおすすめします。

食の安全の取り組み▶



食べて未来へつなごう

商品を通じて持続可能な社会の実現を目指す目的で、「未来へつなごう」をスローガンとして、消費者に国産の米・乳製品及び畜産物・野菜・果物の利用消費を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

日本の米づくり



日本のくだもの



日本の野菜



日本の酪農



未来につなぐ、コープデリ4つのプロジェクト

美ら島応援 もずくプロジェクト

沖縄県伊平屋島産のもずく商品の売り上げの一部を「美ら島応援基金」に寄付し、島の美しい自然環境を保護する活動に役立っています。



佐渡トキ応援 お米プロジェクト

新潟県佐渡コシヒカリ商品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付し、環境にやさしい米づくりや生きものを育むための環境づくりに役立っています。



お米育ち豚 プロジェクト

飼料用米を配合した餌を豚に与え、その豚肉を組合員にお届けすることで日本のお米作りを支え、畜産業を元気にしています。



ハッピー ミルクプロジェクト

コープマークのついた牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもの栄養改善プログラムを応援します。



CO・OP 共済

CO・OP 共済は「組合員どうして困った時は助け合いたい」という思いがかたちになった保障事業で、コープ商品のひとつです。ふだんから加入者みんなが少しずつ掛け金を出し合い、病気や災害などで助けが必要な加入者に共済金として一定額をお支払いしています。加入者の輪が広がることで保障の内容が良くなり、加入条件がゆるやかなコースも誕生しています。

① 進化する保障内容

CO・OP 共済は、加入者が増えることで保障内容がよくなりました。コープながの CO・OP 共済加入者は、約18万人です。(2023年3月現在)

② 使命は「お役立ち」

CO・OP 共済は、共済金のお支払いを通じて「組合員のお役に立つ」ことを大切にしています。コープながのでは、2022年度は1年間で約3万9千件、約19億円の共済金をお支払いしました。

③ 専門スタッフによる加入相談

コープながの各事業所の「共済スタッフ」と各店舗の共済係が、組合員からの保障相談や共済加入のお手続きを行っています。



CO・OP共済 ▶
公式サイト



コープデリでんき（コープの電気事業）～100年後の地球のために～

「コープデリでんき」は、再生可能エネルギーで発電した FIT 電気の比率100%の電気です。再生可能エネルギーの内訳は、地熱30.0%、FIT(水力)30.0%、FIT(バイオマス)25.0%、FIT(風力)10.0%、FIT(太陽光)5.0%、となっています。

事業紹介

長野県内では33万人をこえる方が組合員としてコープながのに加入されています。

コープ商品やサービスは親から子へ、お友達へとつながり、その広がりや“よりよい商品や暮らしを”の願いをかたちにして実現してきました。コープながのでは、組合員の皆さまにこれからも安心してご利用いただけるよう、さまざまなリスクへの対策をとりつつ、消費者の暮らしに寄り添い続けます。



宅配事業 ～「つかうほど、じぶんらしく。」～

宅配事業はコープながのの基幹事業で、事業全体の9割を占めています。県内13ある宅配センターから、組合員のもとへ商品をお届けしています。

宅配を利用する組合員は、毎週届くカタログの中から商品を選んで注文します。

注文方法は専用の注文書に記入するOCR注文、インターネット注文、電話注文など組合員が選んで自身の生活スタイルに合った注文方法を選ぶことができます。

① ウィークリーコープ

- ウィークリーコープは、毎週決まった曜日に注文品をお届けするシステムです。カタログが届いた翌週に注文、その次の週に注文した商品がお手元に届きます。
- ウィークリーコープで取り扱っている商品は、食品や日用雑貨など8,000点以上。CO・OPマークのついたコープ商品だけでなく、農水畜産の産直品や、一般メーカーのナショナルブランド商品も多く扱っています。
- 商品は、常温品、冷蔵品、冷凍品、農産品それぞれに適した温度帯に管理してお届け。また、留守宅へのお届けに商品が入った箱を保護するデリカパーも用意しています。
- 児童センターなどで利用できる法人向けのサービスもあります。



▲デリカパー

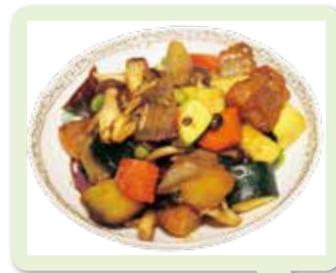


ウィークリー
コープ



【お届けの形態が選べます】

- 1) 個人宅配は、トイレトペーパーや紙おむつなどのかさばるもの、お米や飲料のように重いものも玄関先までお届けします。サービスには手数料がかかりますが、「赤ちゃん割引」「子育て割引」「シルバー割引」「ふれあい割引」などの制度もあります。
- 2) グループ購入は、3人以上で利用することができます。基本、配達手数料はかかりません。
- 3) ステーション購入は、地域の商店やコープの施設で、コープデリ宅配の商品を受け取ることでできるサービスです。個人で利用でき、配達手数料はかかりません。



手作りおかずが簡単に
CO-OP DELI MEALKIT
コープデリミールキット



▲コープデリのミールキット



② デイリーコープ（※地域限定）

コープの宅配「デイリーコープ」は、夕食宅配サービスです。栄養バランスを考えたお弁当やおかずの舞菜シリーズをメインに、ミールキット・お惣菜・卵・牛乳などを月曜日～金曜日の週3回以上お届けします。

● アレルゲン登録

コープデリ e フレンズでは、アレルゲンの登録ができます。特定原材料8品目を含め28品目の設定ができます。アレルゲン登録すると、アレルゲンが含まれる商品は強調して表示されます。登録と変更はいつでも可能です。

※製造工程上の微量混入（コンタミネーション）は案内していません。

アレルゲン登録 ▶
（e フレンズ登録者のみ）



③ ダイレクトコープ（産地・工場直送便）

産地・工場直送便専用サイトから注文したい商品を宅配便で届けるサービスです。いつでも利用でき、住所指定で全国へ送ることができます。お届け時間指定もできます。

※ご利用にはコープデリ e フレンズへの登録が必要です。

● お届け確認メールサービス

離れて暮らすご家族に、対象組合員のお宅へ配達にお伺いした際の商品お届け状況（在宅・不在など3種類）をお知らせするサービスです。連絡先を登録していただいた方に、配達時の情報をメールでお知らせします。無料で実施しており、登録は対象者の承諾のみ必要で、生協の加入の有無は問いません。



店舗事業

コープながのには、コープ長野稲里店（長野市）と、コープ安曇野豊科店（安曇野市）の2店舗があります。コープのお店は食品を中心に、ふだんのくらしに役立つ品揃えを心がけ、楽しくお買い物ができる空間を提供しながら、地域から信頼されるお店を目指しています。お買い物には、ポイントサービスとプリペイド機能をあわせ持つ「ほべたんカード」があります。毎週子育て応援 day とシニア day があり、子育て応援 day にはお買い物時に長野県子育て応援パスポート提示で、シニア day にはあらか



じめ登録されたコープのポイントカードを提示していただくことで割引を受けられます。

コープ長野稲里店には移動販売車が2台あり、長野市・須坂市・中野市など約70カ所の停留所を巡回し、地域の皆さまにご利用いただいています。



福祉事業

長野市と上田市で介護保険事業を展開しています。長野市には居宅介護支援（ケアマネジャー）と訪問介護が2事業所ずつと通所介護1事業所が、上田市には居宅介護支援（ケアマネジャー）と訪問介護が1事業所ずつと通所介護が2事業所あります。いずれも利用者の皆さまが、住み慣れた家で自分らしく暮らし続けられるための支援を基本としています。自立した在宅生活を支援するための介護サービス「生協10の基本ケア」を導入し、自分でできること、していることは、できる限り自身で行えるような支援対応に努めています。



パタカラ体操【まゆみだ】



お散歩【国分】



体操【保野】

学校職域事業

小中学校と特別支援学校の教職員組合員を対象に、事業展開をしています。食品・書籍・CD・DVD・雑貨及びガソリン、協力店等のご案内をしています。

また、教職員グループ保険や団体扱いの生命保険・自動車保険を取り扱うほか、提携商社としてタイヤ販売等とともに車両購入紹介サービス、ハウジング、分譲マンション紹介なども行っています。



その他の事業

※(株)コープデリサービス、(株)コープデリ保険センターともコープデリ連合会の子会社です。

サービス事業：(株)コープデリサービス

組合員のくらしに役立つ4つの事業を行っています。

- チケットサービス
遊園地やレジャー施設、公演チケット販売等
- ぐらしのサービス
ハウスクリーニングやふとんの丸洗い等の斡旋
- 住宅事業
住まいのリフォームやメンテナンス、新築住宅
- 葬祭事業コプセ
葬儀、霊園・墓石



▲ライブなび
ネットショッピング



白樺リゾート 池の平ファミリーランド
コープデリ チケット



コープデリ ハウジング



コープデリのお葬式 コプセ ※祭壇は一例です。

保障事業：(株)コープデリ保険センター

組合員を対象にした損害保険及び生命保険の取り扱い（募集）代理店です。

取り扱い商品は、コープの団体保険、自動車保険、火災保険、ペット保険、生命保険、医療保険、がん保険等です。また、組合員向けに無料の保険相談を行っています。



▲保険センター
トップページ

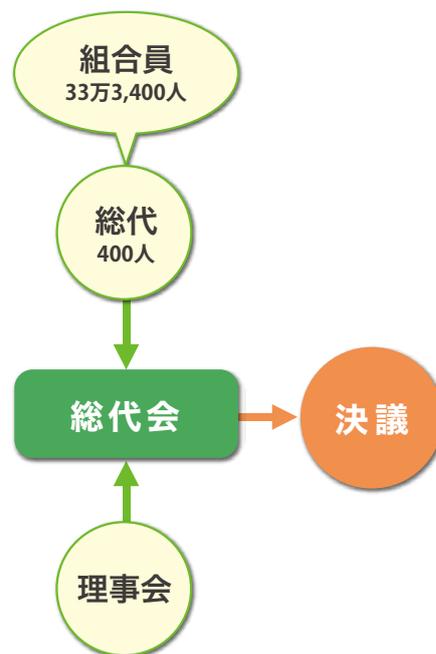


さまざまな取り組み

コープながのを支えるもののひとつに、組合員活動があります。コープながのの理事会が企画する学習会のほか、組合員スタッフが企画・運営する“自宅に居ながら学べる企画やオンラインを活用した学習交流、屋外企画”など、組合員が参加できる形を考えながら「暮らし」にかかわる学びや取り組みを行っています。

通常総代会・ブロック別総代会議（※機関会議）

コープは協同組合です。年1回開催する「通常総代会」で議決された年度の方針（運営や活動の方向性）に沿って運営されています。また、組合員の代表である「総代」と理事会とのコミュニケーションの場として年に2回のブロック別総代会議と年度のまとめについてご意見をいただく機会を設けています。これらで出された意見は、まとめや方針に反映されます。組合員が運営にかかわる大切な場となっています。これらの会議は機関会議に位置付けられています。



さまざまな取り組みを紹介する SNS

コープながの公式
みんなの参加の場

【Instagram】



コープで取り扱っている商品などを
紹介するコープながのチャンネル

【YouTube】



コープデリ連合会公式 【Instagram】

さまざまな参加の場

コープに加入すると、商品やサービスを利用することのほか、多岐にわたる「参加の場」があります。

コープ会

メンバーになった組合員が集まって楽しくおしゃべりする場がコープ会です。会場に集まって会っておしゃべりするリアルコープ会と、webでつながっておしゃべりするオンラインコープ会があります。

コープサークル

組合員が5人以上集まって、自主的な活動をする「コープサークル」を作ることができます。コープサークルは、コープから運営費の補助などが受けられます。

学習会・講演会

コープ商品をはじめ、暮らしに役立つさまざまな情報を知り、学ぶ場を設けています。オンラインなどを活用した企画のほか、資料を使って自宅で学ぶことができる送付型企画、会場での開催も実施しています。

屋外企画「がっこう」シリーズ

自然環境や食について考えるコープの屋外企画「がっこうシリーズ」は、4つあります。

がっこうシリーズ
について



森のがっこう

長野県がすすめる「森林(もり)の里親契約促進事業」を活用し、複数のNPO法人と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。これらのNPO法人の協力のもと、森林を知り、活用する活動を行っています。



田んぼのがっこう

田植えや田んぼの中の生きものさがし、稲刈り、稲わらを使ったクラフトなどを通じて、私たちが主食にしているお米ができる環境や育つ様子を学びます。



川のがっこう

身近な川をフィールドに、川の中や周辺の生きものを探したり触れたりしながら環境について学びます。また、川に入る際に注意すべきことなど水辺に関して知って体感する企画を行っています。



畑のがっこう

畑での農作業をすることで土に触れ、自然や農業についての理解を深めます。JAあづみの協力のもと、29年続いている「ふれあい農園」のほか、JA上伊那やJA信州うえだの協力により農業体験などを行っています。





社会貢献・環境問題への取り組み

コープながのは、食の安全と安心を第一に事業を通して組合員の暮らしに貢献すると同時に、さまざまな活動を続けています。誰もが安心してらせる豊かな地域や持続可能な社会実現のため、小さなことから取り組んでいます。



▲コープデリグループ「サステナビリティ」サイト

事業者としての省エネとCO₂削減への取り組み

コープの施設の屋根の上に太陽光パネルを設置し、発電した電気を利用しています。また、再生可能エネルギーで発電された電気の利用を広めるため、組合員向け「コープデリでんき」事業も行っています。営業車に電気自動車の試験導入をするなど、CO₂削減への取り組みをすすめています。

貧困問題を考える取り組み

貧困問題ともかかわる取り組みで、「未使用文具寄付キャンペーン」を継続して行っています。集まった文具は県内のNPO法人等を通じて必要とする家庭に届けています。また、コープの店舗をフードドライブ開催場所として提供しています。2022年度は、コープながのの独自でフードドライブの開催を店舗にて試みました。

プラスチックスマートを目指す取り組み

できるだけ使い捨てプラスチックを使わないことや、使い捨てせず繰り返し使うこと、使ったプラスチックをリサイクルに回す消費行動を組合員に呼びかけています。コープ商品包材の仕様も見直し、ノントレー商品やラベルのない飲料容器の開発に取り組んでいます。

リサイクル循環を目指す取り組み

宅配ではコープのカタログや注文書、ペットボトル容器とキャップ、飲料の紙パック、卵パック、食品発泡トレイ、商品お届け時のポリ袋等を回収し、リサイクルしています。店舗ではアルミ缶の回収も行っています。

他団体との協力

社会福祉協議会や、NPO法人フードバンク信州など、県内の各団体との継続的な関係づくりをすすめ、横の繋がりを構築しています。取り組みに賛同・参加・協働することで地域に貢献しています。

県および市町村との協定締結と宅配システムを活用した地域の見守り

コープながのは、地域にいらしている高齢者・障がい者・子どもなどの見守りを心がけ、安心して暮らし続けることができるよう、長野県をはじめ36市町村と協定を結んでいます。また、協定のほか市町村独自の見守りネットワークに加入しています。日々の配達業務の中で、万が一異変を感じた場合には、行政や関係者に連絡をとっています。(MAPはP16)

SDGsを推進し、持続可能な社会を目指す取り組み

コープながのはコープデリグループとともに「ビジョン2025」の取り組みを通してSDGs達成に貢献します。長野県SDGs推進企業としての登録のほか、NAGANO SDGs PROJECTへの協賛など、さまざまな場面で協力しています。

安全運転や交通安全に関する取り組み

地域の生活道路を使って配達を行うコープの宅配では、安全を最優先課題として普段から安全運転を心がけています。全職員がSDカードを取得し、安全運転事業として13年連続で表彰されました。また、地域の保育園などに協力し、コープデリの交通安全教室を開催しています。



組合員どうしの助け合い活動

くらしサポート活動「まごころ」は、コープながのの組合員どうしの助け合い活動です。

- くらしの中で困った時、組合員どうして助け合います。
- 困っている人を、その時できることで援助します。
- 誰もが自分らしく、その人らしく生きられる社会を目指します。

人と組織づくり

人材育成(教育・研修)

新規採用の職員は、コープデリ連合会で統一された採用時研修を受講します。さらに共済や安全運転、さまざまな取り組みなどに関する独自研修を受講し、業務に必要な知識、スキル、ビジネスマナー、チームワークなどを学びます。

入職後も先輩職員の同行支援やOJTの中で業務を習得する仕組みができています。また、職務や経験に応じた集合教育や、日本生協連を主とした通信教育に加え、書籍の斡旋、資格取得支援など、自己啓発やキャリアアップのための総合的な仕組みをいかにしながら人材を育成しています。



職員研修

ワークライフバランス

コープながのは、職員が仕事と家庭のバランスを保ちながら能力を発揮できるよう、多様な働き方に対応する各種制度の整備と改善に取り組んできました。これまでの取り組みと実績が評価され、優良な子育てサポート企業として2015年に厚生労働大臣の認定「プラチナくるみん」を受け、2016年には長野県の「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証を取得しています。

2022年度は、育児休職・介護休職に加え、配偶者出産休暇(9名)、子の看護休暇(7名)、介護休暇(4名)等、短期の休暇についても利用者がいました。男女を問わず、さらに利用しやすい制度となるよう周知することで職員の理解を深め、働きやすい職場作りをすすめていきます。



内部統制システム

コープながのは、組合員や社会の期待に応じて社会的責任を果たしていくため、理事会などの政策検討・執行機関でのガバナンス(組織統治)強化による公正で健全な経営をすすめるとともに、すべての役職員がコープデリグループの「行動指針」「行動規範」に従って自らを律し、法令、内部ルール、モラルの遵守を行い、倫理的組織風土の構築に努めています。

特に、コンプライアンス意識の醸成と定着を推進するため、「イイネ!推進委員会」等を通じて行動指針の浸透、安全運転やハラスメントに関する教育研修などを実施しています。

■ 監事会

常勤監事1名と有識者監事(弁護士・税理士)2名、組合員監事2名の計5名の監事が、会計と理事の職務執行を監査し、コープながのの運営システムが健全に機能しているかチェックしています。

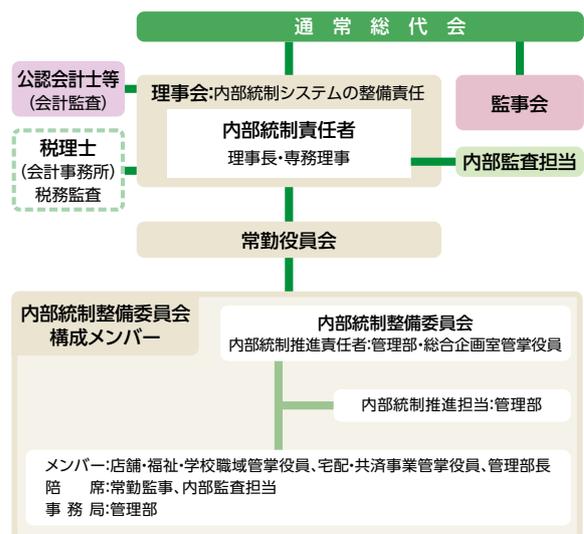
■ 内部監査(業務監査)

専務理事の下に専任の内部監査担当を置いています。各部署の業務の有効性及び効率性、適法性に関する状況及び内部統制の整備状況などの業務遂行状況を監査しています。2022年度の定型業務監査は24事業所・部署で、17項目にわたるコープデリ連合会統一のチェックリスト等に基づく点検を行い、監査結果は定期的に専務理事に報告するとともに、常勤役員会へ報告しています。

コープながの役職員の行動指針

組合員のくらしと未来のために組合員の立場に立って「安心と信頼」「挑戦と学び」「コミュニケーションと感謝」を大切にします。

内部統制の推進組織 (2023年度)



※内部統制：組織内部において、違法行為や不正などが発生することなく、組織が健全かつ有効・効率的に運営されるように業務の基準や手続きを定め、管理や監視をすること。

コープながの
「コンプライアンスの考え方」▶



TOP COMMITMENT

日頃から、コープながのの事業と活動にご支援、ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

長引くロシアによる軍事侵攻や物資・物価の高騰は、世界の分断を深め、コロナ禍で疲弊したくらしや経済に影響を与えています。格差や貧困、孤立といった社会的課題がより深刻化していく中、コープながのでは、その解決の一助となればと、昨年新たに、フードロス対策や生活困窮者支援を目的とした予備入荷商品のフードバンクなどへの提供や、移動店舗2号車を導入した買物困難者対策の強化を実施しました。また、組合員とともに、「ハッピーミルクプロジェクト」など商品の利用を通じた社会貢献活動や募金活動にも取り組んでいます。

2022年9月、コープながのは創立30年を迎え、あらためて協同組合の原点である“協同”することの素晴らしさ・尊さを再認識することができました。この思いを忘れずに、理念「ともにはぐくむ くらしと未来」のもと、「未来へつなごう」をスローガンに、“平和”で“持続可能な社会”の実現と「誰からも頼られる生協」を目指して、地域のみなさまとともにさまざまな課題に向き合って参ります。

みなさまのご支援とご協力を、お願い申し上げます。



生活協同組合コープながの
理事長

太田 栄一

行政との協定・協力

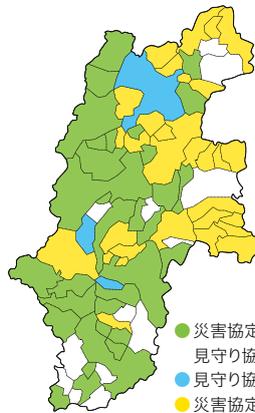
長野県SDGs 推進事業への登録

「SDGs 未来都市」に認定された長野県。それに伴い創設された「長野県SDGs推進企業登録制度」に、コープながのが登録しています。



地域見守り活動に関する協定

コープながのは、地域にくらししている高齢者、障がい者、子どもなどの見守りを心がけ、安心してくらし続けることができるよう、長野県をはじめ36市町村と協定を結んでいます。また、協定のほか、市町村独自の見守りネットワークに加入しています。日々の配達業務の中で、万が一異変を感じた場合には、行政や関係者に連絡をとっています。



災害時における 応急支援物資等に関する協定

万が一、災害が起こった時に、お互い協力して住民生活の早期安定を図るため、応急生活物資の供給及び運搬に関して積極的にコープながのが協力するものです。



コープながのガイド 2023

発行：生活協同組合コープながの

お問い合わせ：総合企画室 〒388-8555 長野県長野市篠ノ井御幣川668

TEL.026-261-1223 FAX.026-261-1219 <https://nagano.coopnet.or.jp>



電子ブック



コープながのWebサイト



「ほべたん」

ほべたんは、コープデリグループのマスコットキャラクターです。

「ほべたん」は、おうちで食べるごはんが大好きな5歳の男の子。コープデリの配達員さんが来ると“おいしいの、とどいたよ”ってパパやママにお知らせするのが楽しみ。自転車に乗って、コープのお店に行くのも大好きです。